

【地域の宝発見～南山木地師戸板集落跡】

国道289号を南郷から田島方面に向かう途中、駒止トンネルの手前、戸板山スノーシェルター入口の直ぐ左側に「南山木地師戸板集落墓地跡」の案内標識があります。(写真1枚目)入って直ぐに駐車場があり、傍にはかつての木地師の集落跡と墓地が残っています。

木地師とは漆を塗る前の漆器の素地を原木から加工する職人のこと。ブナやナラなどの原生林に覆われた南会津地方の山々には、34箇所の木地小屋があったとされています。木地師たちは30年～50年で周辺の原材を伐り尽くしてしまうと、他の原材を求めて移住して歩きます。ここ戸板集落には岩瀬郡天栄村大字湯本から戸板沢(田島)を経て移住してきており、宝暦6年(1756年)～寛政7年(1795年)の40年間ここで生活していました。この場所には当時の屋敷跡、神社の石段、墓石(写真2,3枚目)、棺を横たえ僧侶が引導を渡した「抜苦与楽場」(写真4,5枚目)が残っています。



#南会津建設#南会津#福島#ふくしま#東北#建設#土木#福島県
 #minamiaizu#fukushima#japan#civil_engineering#construction#南山#木地師#ろくろ師#戸板#集落跡#木地師の墓地#南会津町#南会津の歴史